

海老名中央 事業所		送迎実施	有り	綾瀬 事業所		送迎実施	有り
法人理念	子供達の成長は早く、その時々にあった目標設定とそれに応じた支援を行っていく必要があります。 バンビーノでは、子ども達の変化を細かく確認し、毎月評価を行い、都度支援計画を見直します。 また、お買い物学習や外出支援など、社会的な経験を多く積めるような支援を行っていきます。						
支援方針	バンビーノでは、5領域の視点「健康・生活」、「運動・感覚」、「認知・行動」、「言語・コミュニケーション」、「人間関係・社会性」を良く考察して総合的な支援を行うとともに、個人支援にも特価出来るように5領域の視点との関係性を考慮しながら支援して参ります。						
サービス	放課後等デイサービス(日曜日休み)			放課後等デイサービス(土日休み)・※児童発達支援			
営業時間	学校がある日	学校休日		学校がある日	学校休日・祝日		
	12:00~18:00	10:00~16:00		12:00~18:00	10:00~16:00		
							※児童発達支援は10:00~13:00(学校休日・土日祝は休み)
※12月30日~1月4日まではお休みです。							
支援内容							
5領域の視点「健康・生活」、「運動・感覚」、「認知・行動」、「言語・コミュニケーション」、「人間関係・社会性」を考慮する。							
健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 日々の健康管理、小さい事から身体の不調にも気づけるように注意して行く。 身近の自分の事は自分で出来るように習慣化して支援して行く。 日常生活一般の睡眠・食事・排泄等の基本的な生活リズムを身につけるように決まった時間での誘導と支援をする。 利用者が分かりやすく伝え、利用者が不安なく過ごす事が出来るように支援する。 利用者の様子やご家族からのご要望等を確認しながら個別支援も取り組みます。 						
運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 運動やヨガなど身体を使う活動で課題を提供し、身体機能の向上と集団の中での取り組みを感じ取ってもらう。 集団生活や製作活動などで、視覚・聴覚・触覚・嗅覚・味覚の五感を十分に活用できて、色々な体験を提供支援して行く。 日常生活に必要な基本動作、運動機能の観察を行い、様々な能力の向上を捉え個別支援に取り組みます。 						
認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 利用者様の認知の偏りや個々の拘りの強弱など内容を観察し、活動支援の中で軽減や変化を見出して先の行動に生かして行く。 分かりやすい様に環境を整え、様々な活動の中で刺激や興味を引き出し、本人の許容範囲を広げると共にストレスなく過ごす事が出来るように支援して行く。 色彩・物体・音など、様々な事象に興味、認知、行動しうる活動から利用者様の特性や能力を観察し、集団の中での活動や個別支援に取り組みます。 						
言語・コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 絵カードや写真、マカトンサインなど言語以外のコミュニケーション手段を利用するなどして決まった時間の活動や行動を認知出来るように個々能力の向上を目指して支援して行く。 集団活動の中で、笑い声や表情豊かに楽しく過ごす為に多くの経験と触れ合いを提供する事により、自然にコミュニケーションが生まれるように支援して行く。 利用者様の特性に応じて、日常生活上での読み書(描)き・言葉(発声発音)の向上に向けて観察し、先の活動内容を探り個別支援に取り組みます。 						
人間関係・社会性	<ul style="list-style-type: none"> 月内活動の中で、SST(ソーシャルスキルトレーニング)活動を通して、食の必要性・防犯上の注意点など様々なテーマで子供達に必要な情報を伝え、身につけると共に人間関係の構築のスキルの習得を目指し支援して行く。 月内活動の中で、日常生活訓練で日頃行わない内容を取り入れる。ゲーム感も取り入れ、楽しみながらの活動というテーマで、靴ひもなどの結び方・おはじきなどの小さい物をお箸などの道具を使い手先の訓練など様々なバリエーションで将来に向けてのスキルの習得を目指し支援して行く。 月内活動の中で、運動活動と連携、集団活動とルール、室内で出来るエアトランポリンの上での個人表現、他者への関与・関心を培いトータルにスキルの習得を目指し支援して行く。 						

- ・個々の活動の中で、特米身辺に便り道具としてパソコンで出来るWord等の又早作成やタブレットで出来るクイズ形式の言葉探しなどのアプリ・ツールなどを使って現代社会で必要なスキル習得を目指し支援して行く。

家族支援（きょうだいの支援も含む）

随時情報共有をして行く事で、話しやすい環境と間柄を作ると共に、深い部分での共有と信頼関係を構築する。きょうだい間での意識や性格などから部屋を分ける対応など、考えうる適切な環境を提供し、観察を通して双方の成長を促す支援に取り組みます。

移行支援

学校・相談支援(事)や役所・関連機関との情報交換や個別の担当者会議を行うことで、多角面と包括的に多種多様な意見を基に支援に取り組みます。

地域支援・地域連携

地域の施設として、図書館や体育館などの公共施設を利用し地域への障害者への理解してもらい地域の繋がりを強くして行く。また、緊急災害時など、緊急支援ネットワークを構築し災害時の対応力と連携を高めて行く。

職員の質の向上

外部研修に参加する機会を増やし、最新の事象や見解を把握して速やかに取り入れ反映できるようにして行く。また、研修に行った者が、内容を熟知して、社内で指導役として、研修の内容説明と進行を受け持ち、本人の研修への関心度を高め、次世代(聴衆者)の指導員等が将来自分も行うべき内容である認識から、研修に対しての意識の共有と共に、個々の向上心を高め、子供達に対しスタッフ全員の支援が適正で共通したものになるように努めて行く。

主な行事等（1年を通して）

月内活動の中で、SST(ソーシャルスキルトレーニング)、日常生活訓練活動(リボン結び・ホチキス止め・洗濯物畳たたみ等)、運動活動と集団連携、集団活動とルール、工作活動、疑似お金を使ったお買い物学習などと、個別の専門的支援の実施。学校のお休み(土曜日)・長期休暇(夏休み等)・祝日は、室内支援だけではなく、外出支援で、釣り堀に行ってお魚を釣ってみよう、宝探しゲーム、DIYを経験しよう、公園のアスレチック、近くの小川でザリガニ釣りを体験しよう、自前設営のプールで水遊び大会、牧場で自然に触れてアイスクリームを食べよう、ハロウィンパーティー、クリスマス会、初詣、お餅つき、カレー・ハンバーグ作り、BBQなど